

今般の電力の市場価格高騰事象における 市場への入札量等について

2021年2月25日

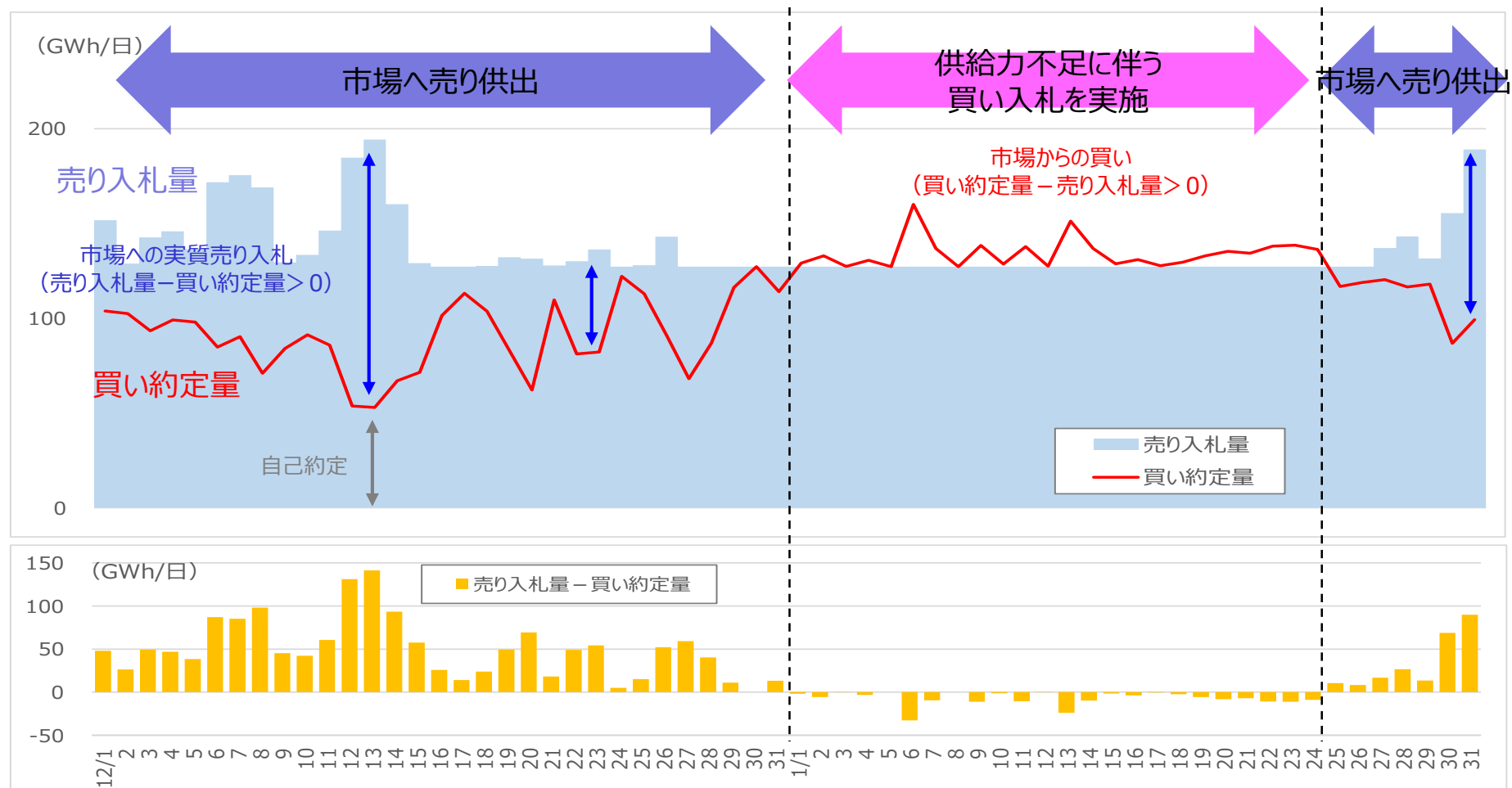
東京電力エナジーパートナー株式会社

1. 売り入札量と買い約定量

1

○12月前半は、売り入札量が買い約定量を上回っていた（市場へ実質的に売り入札できた）ものの、12月後半以降、その差が徐々に縮小。1月に入り、1/1～1/24までの期間は供給力不足に伴う買い入札を行い、買い約定量が売り入札量を上回りました（1/25以降は、12月同様に、売り入札量＞買い約定量）。

＜売り入札量と買い約定量の推移（2020/12/1～2021/1/31）＞ ※東京エリア・グロスビディング分含む（間接オークション分は除外）



2. 売り入札量の減少・買い約定量の増加理由

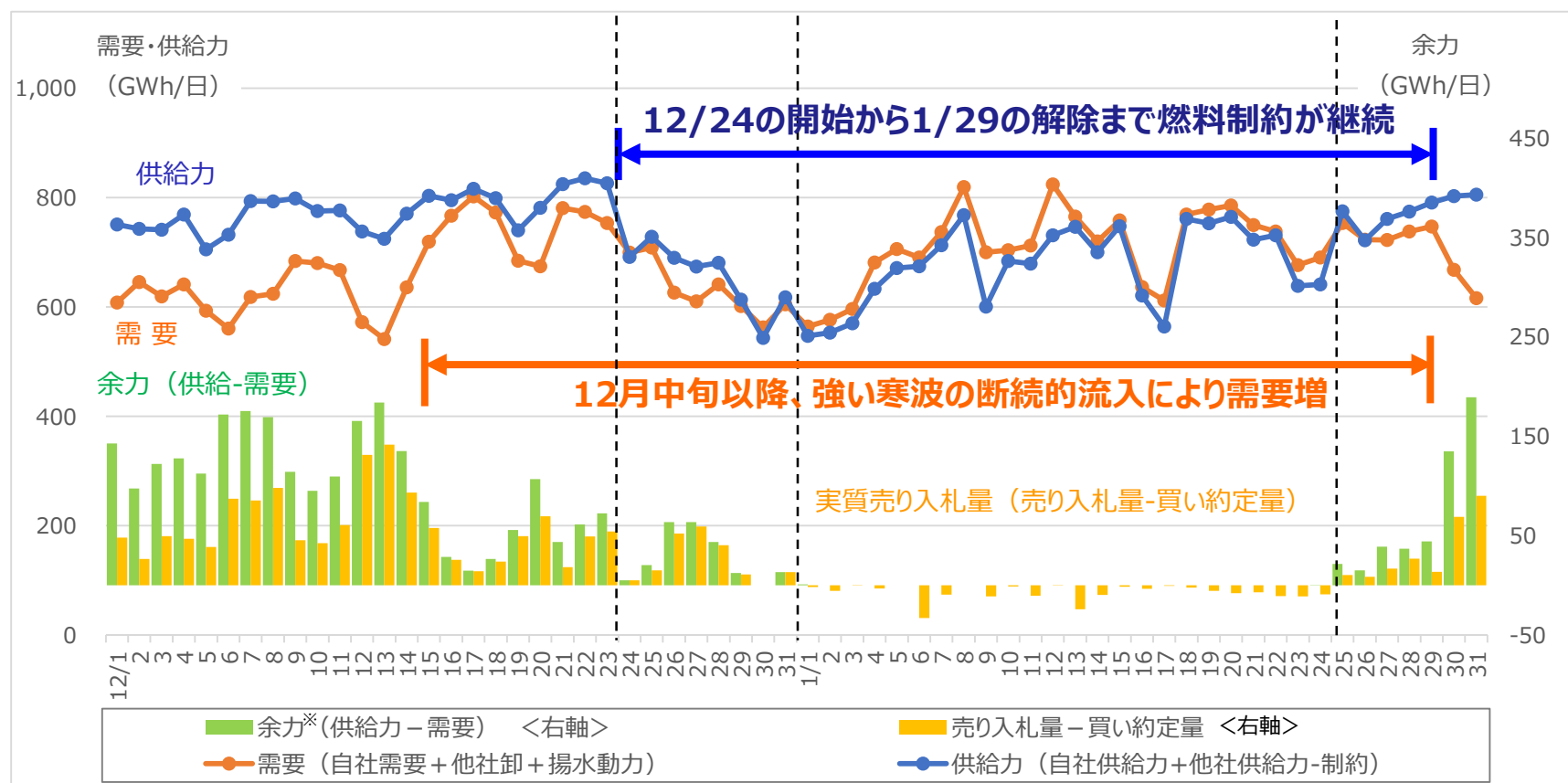
ご質問事項

- 12月後半以降、売り入札量が減った場合の理由は何か。買い約定量が増えている（売り入札量を上回っている等）場合の理由は何か。

回答 ○ 需要増加と発電事業者による出力抑制（燃料制約等）と考えております。

需要は、12月中旬以降、強い寒波の断続的流入により増加し、燃料制約は、12/24から1/29まで継続したことから、売り入札量が減少、買い約定量が増加しました。

< 需要・供給力の推移（2020/12/1～2021/1/31） >



※余力：供給力（自社供給力+他社供給力-制約）- 需要（自社需要+他社卸+揚水動力）で算定。

※東京エリア・グロスビディング分含む（間接オークション分は除外）

(参考) 実質売り入札量 (売り入札量 - 買い約定量) の推移

3

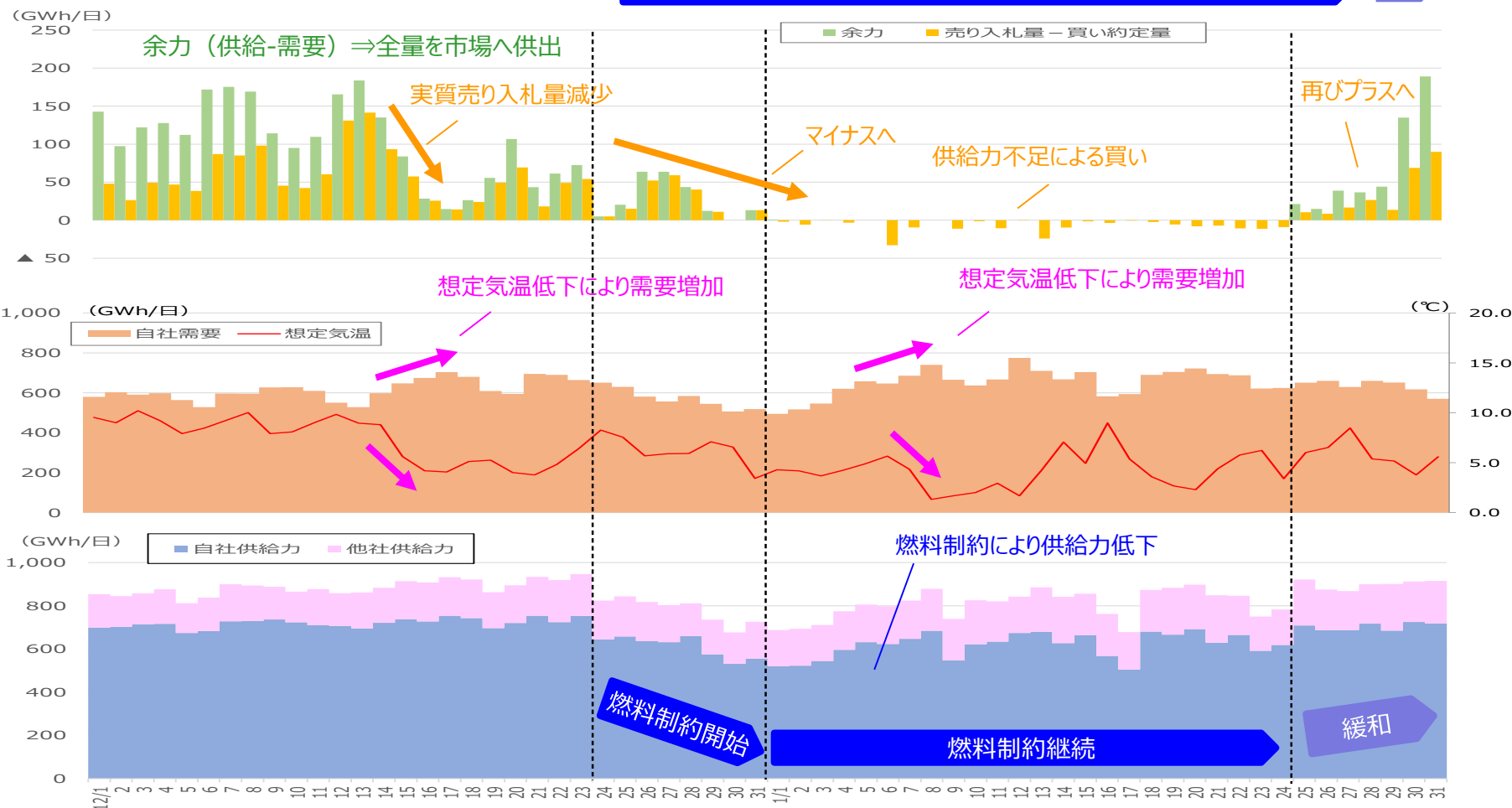
○12/1~23 (燃料制約なし) においては、想定気温の増減に伴う自社需要の変化により、余力 (供給力 - 需要) や実質売り入札量 (売り入札量 - 買い約定量) が増減。

○12/24以降 (燃料制約あり) は、燃料制約により供給力が低下し、実質売り入札量はマイナスへ。

1/1~1/24は、供給力不足に伴う買い入札により買い約定量が増加し、実質売り入札量はマイナスが継続。25日以降は、燃料制約緩和に伴い、プラスに転じました。

燃料制約 なし

燃料制約 あり



3. 自社需要の増加理由

ご質問事項

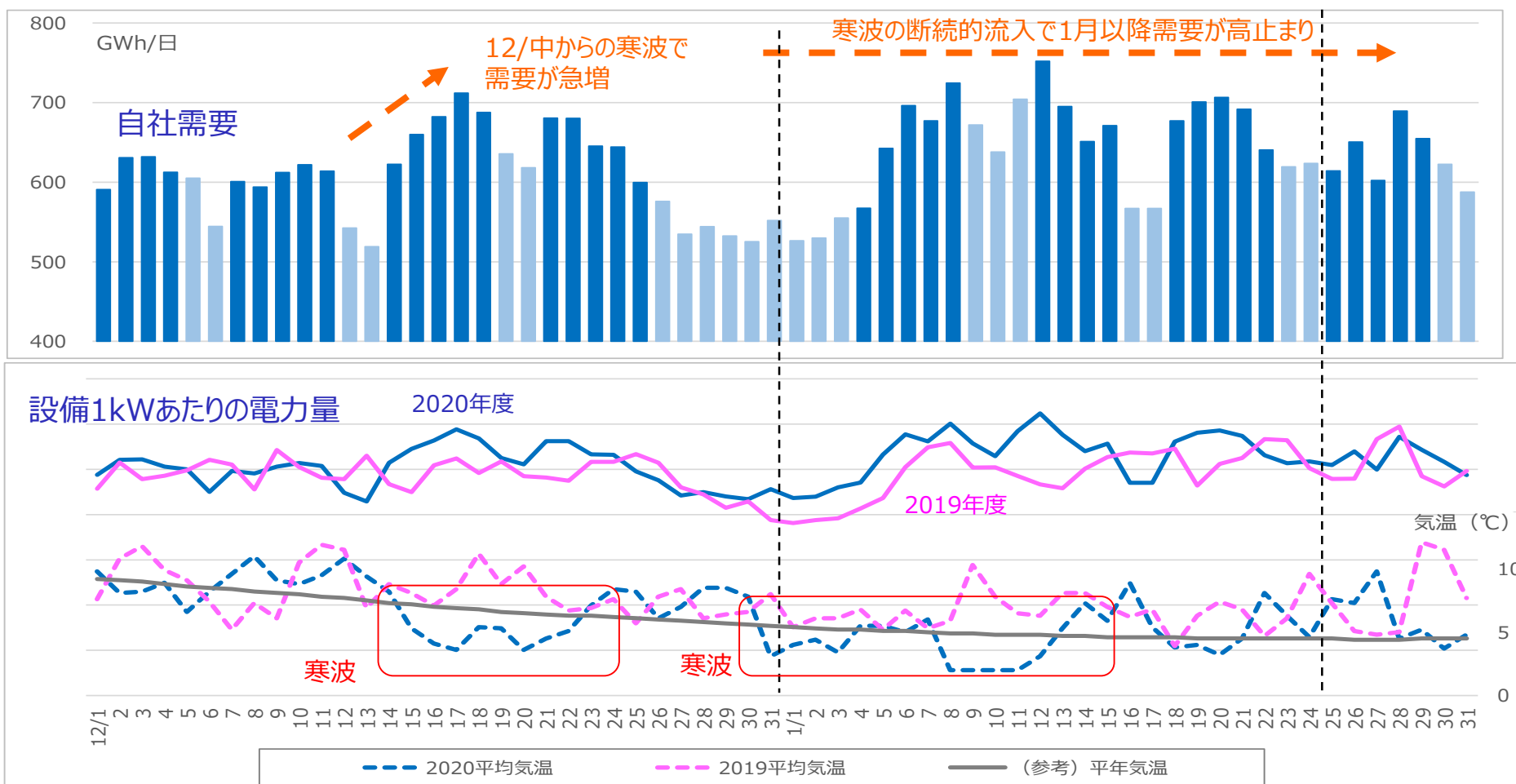
●12月後半以降、自社需要が増えた場合の理由は何か。

回 答

○強い寒波により、12月中旬以降、需要が急増。1月に入っても、寒波の断続的な流入により、需要は高止まりで推移しました。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う在宅率の高まりにより、主に家庭用向けの増加影響が一定程度あったものと考えています。

<小売需要・気温の推移（2020/12/1～2021/1/31）>

※棒グラフの色が薄い部分は休日ならびに年末年始



ご質問事項

● 自社需要想定をどのように見積もっているか。

回 答

- 自社需要は過去実績と最新気象予報に基づき、需要予測システムにより想定しております。
 - ✓ 予測対象日の対象時刻毎に気象，曜日等を変数とした予測式（重回帰式）により想定
 - ✓ 土・日・祝日・特異期間は平日との格差率を用いて想定
- ※ 気象データは9地点の需要比率を考慮した加重平均値を採用

需要予測値

回帰係数

$$y = \beta_1 x_1 + \beta_2 x_2 + \beta_3 x_3 + \cdots$$

説明変数(気象パラメータなど)

項 目	内 容
予測期間	予測計算時刻から14日先まで
予測手法（基本）	線形重回帰にもとづく平日予測 格差率を考慮した土日、祝日、特異期間予測
主な使用データ	需要，気温，湿度，全天日射量，風速，風向，曜日・カレンダー情報 気象は9都市（東京,横浜,千葉,熊谷,前橋,宇都宮,水戸,甲府,三島）

4-2. 自社需要想定と実績との乖離理由（12/28.1/4）

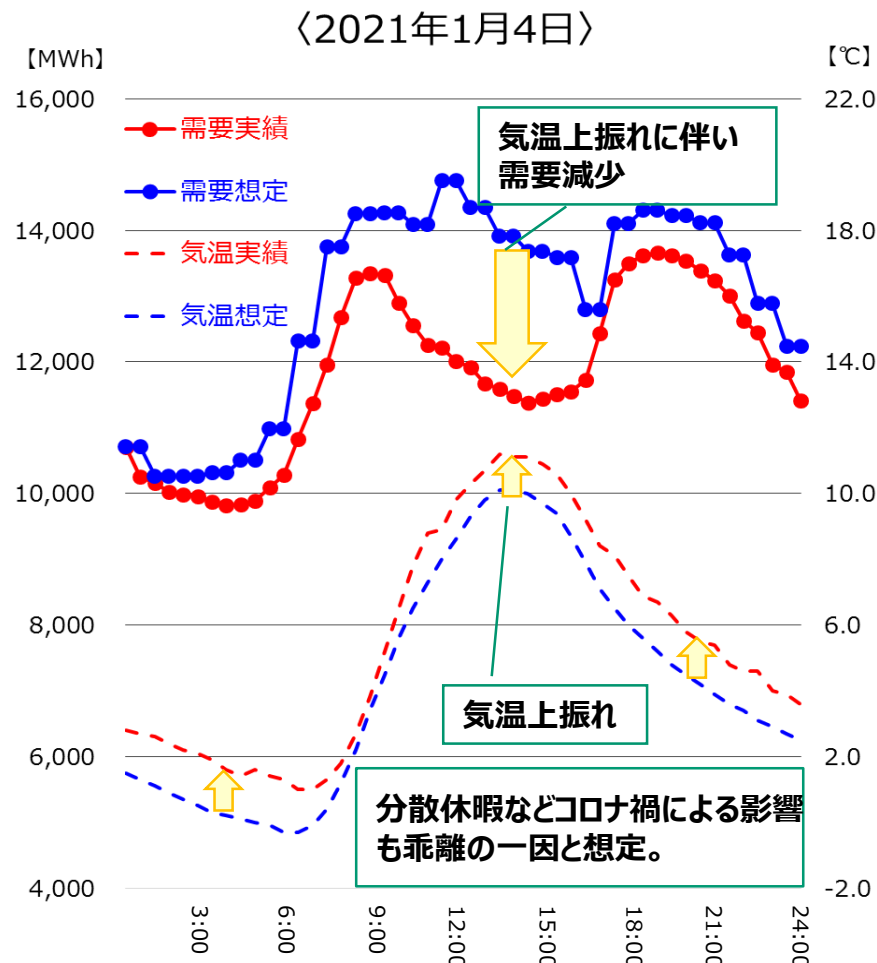
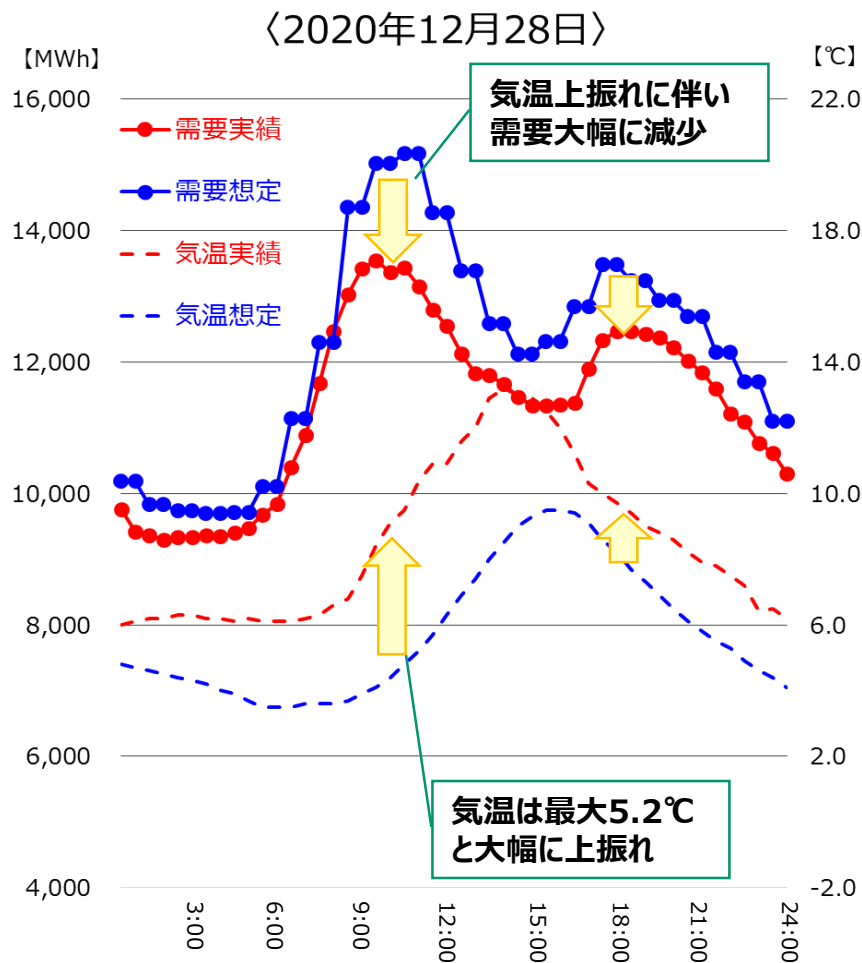
6

ご質問事項

- 実績との乖離が大きかった日について、理由は何か。

回答

○需要減少は、気温が気象予報よりも実際には増加したことが主な理由と考えております。
○特異期間は過去データ数が限られ予測誤差が生じやすいことに加え、コロナ禍による例年と異なる影響（分散休暇など）も乖離の一因と考えております。



4-3. 自社需要想定と実績との乖離理由（1/14.1/15.1/25）

7

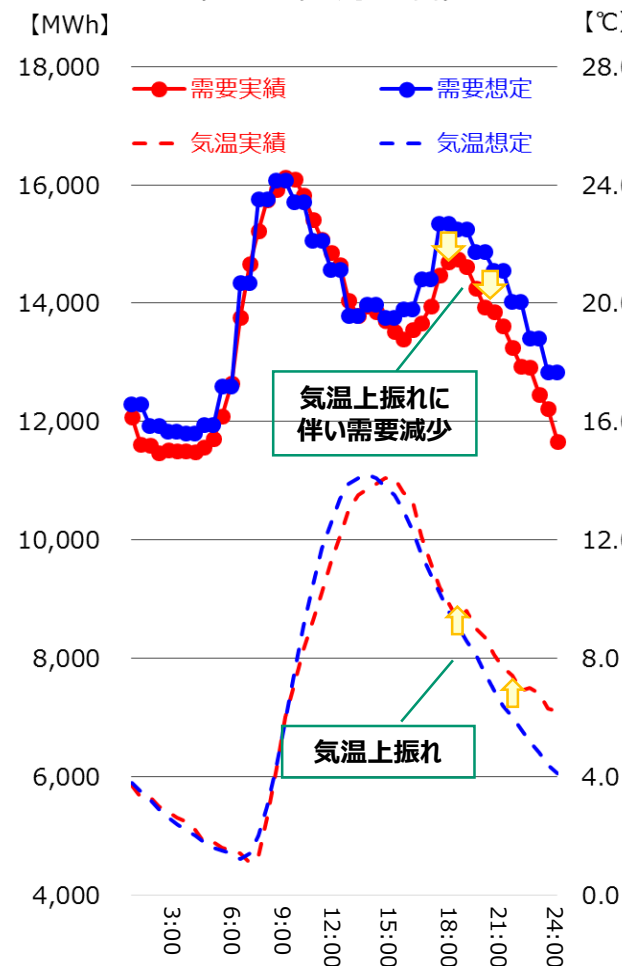
ご質問事項

- 実績との乖離が大きかった日について、理由は何か。

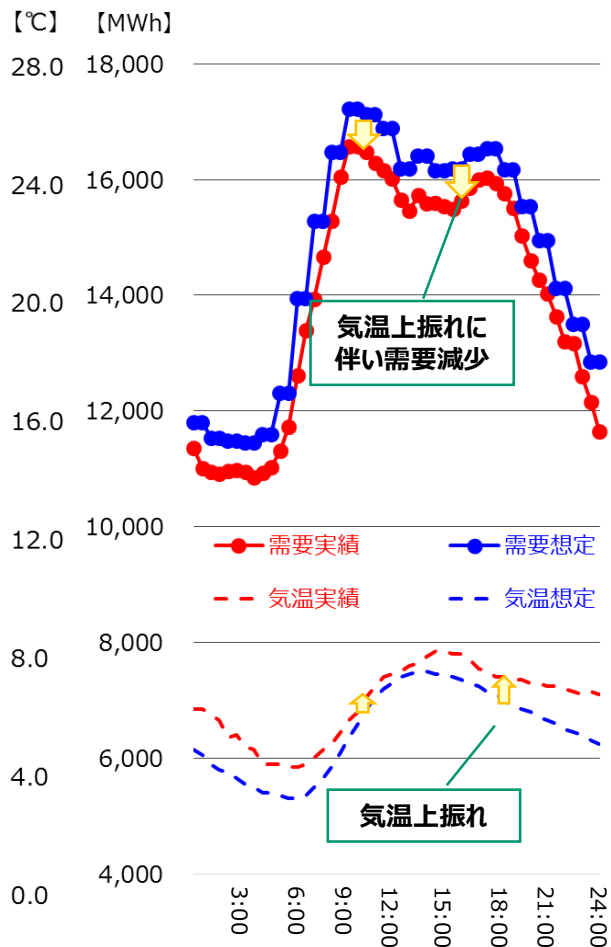
回答

○ 需要減少は、気温が気象予報よりも実際には増加したことが理由と考えております。

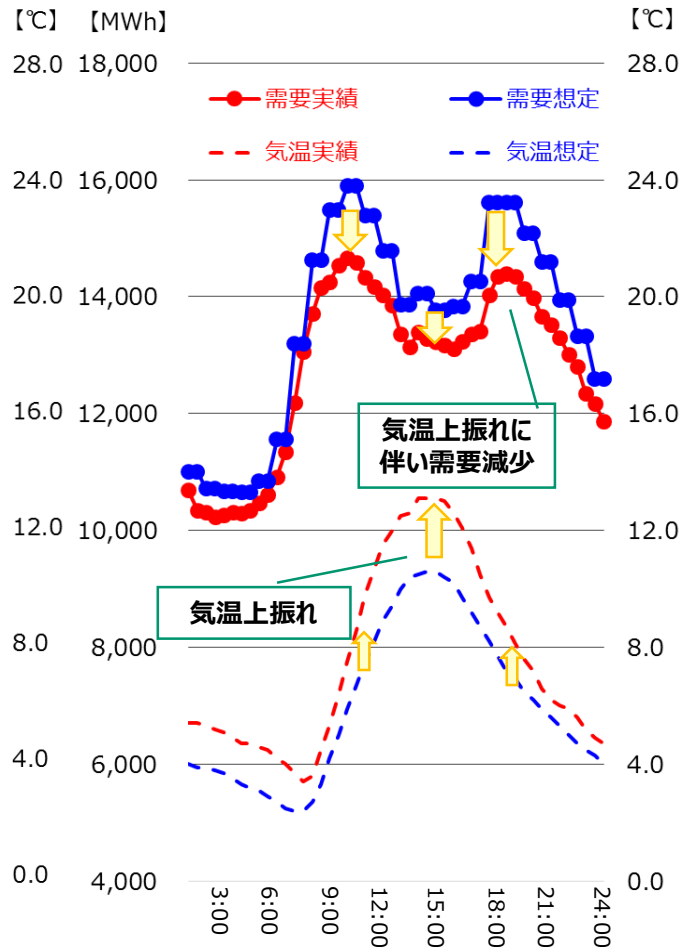
〈2021年1月14日〉



〈2021年1月15日〉



〈2021年1月25日〉



ご質問事項

- 燃料制約について、具体的にどのような算定方法で設定したか。タンクの運用下限の設定について、どのようなリスクをどのように織り込んだか。また、期間中の運用について、運用下限を下回る範囲で運用をおこなったか否か、行った（行わなかった）場合にその理由は何か。

回 答

- 発電事業者に係る内容であり、弊社では把握しておりません。

ご質問事項

- 燃料制約の設定にあたり、市場への影響をどのように考慮したか。ピーク以外の時間帯で市場調達を行い、ピーク時間帯に市場への供出量を増やす運用を実施したか。

回 答

- 発電事業者に係る内容であり、弊社では把握しておりません。

ご質問事項 ●グロスビディングをどのような考え方で行っているか。一定期間とりやめている場合、その理由は

回 答

○グロスビディング（以下、GB）の取引目標（販売量の20%程度）に応じて売買ともに定量入札しております。価格は、売りは入札全量に対し確実に約定させる観点で設定、買いは限界費用ベースにて算定しています。なお、「供給力－GB売り入札量」が、弊社需要を下回る場合には、確実に買い戻せる価格で入札（GB高値買戻）を行います。

○グロスビディングを一定期間とりやめた事実はありません。

